



佐賀大学 教職大学院 広報誌

院生ライフレポート



2026年
第5号（9月）

探究実習レポート

探究実習は、学部教育実習とは異なり、学校や学級、子どもの課題についてのデータを収集し、分析した結果を、学校の実践に生かすことをねらいとしています。学部卒業生等学生(以下、「ストマス」)の1年は基盤実習として教育実践の基本について実務的に学び、現職教員等学生(以下「現職院生」)は、異校種実習や関係機関実習、学校変革基盤実習に取り組み、それぞれの実習先で専門的に学びを深めます。今回は、それぞれのコースでどのような実習を行っているかについてレポートします。

児童養護施設や県の教育支援センター、認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス(略称S.S.F.)で実習をしています。各施設で、様々な背景のある子どもや若者を、スタッフがどのように支援しているかについて学んでいます。学校とは異なる環境での支援について学ぶことができるので、とても勉強になっています。

(子ども支援探究コース 生徒指導・教育相談系 現職院生)

教育センターでは、主に教員向け研修会の運営を補助したり、研修を聴講したりしました。また、図書室では貴重な資料などを閲覧させていただきました。東部教育事務所では、事務所の班ごとの役割と主な業務についての講話を受け、小中学校の学校訪問にも随行しました。また、「これからの学校プロジェクト」や「なすことによって学ぶ会」についての講話やリハーサルへ参加し、今後に向けてたくさんの学びを得ました。

(教育経営探究コース 現職院生)

現任校とは障害種の異なる金立特別支援学校に実習に行っています。肢体不自由児の教育において、自立活動やコミュニケーションの支援を中心に学んでいます。

やっぱり、学校での実習は楽しいです!

(子ども支援探究コース 特別支援系 現職院生)

基盤実習の第一週目では、さまざまな学年の授業を参観しました。先生方の授業を拝見し、多くのことを学ばせていただきました。どの授業においても、指名の仕方や机間指導など、先生方の一つ一つの行動に工夫や意図があることを感じました。今回の実習で学んだことを、今後の授業実践でも活かしていきたいと思います。

(授業実践探究コース ストマス)

異校種実習では、佐賀大学教育学部附属小学校で、算数の授業を中心に参観し、子どもたちの考え方や学びの様子、教師の働きかけについて学んでいます。中学校とは異なる子どもたちの反応やつぶやきに触れながら、自分自身の授業づくりや研究について考える機会にしたいと思っています。

(授業実践探究コース 現職院生)

編集者 M&M